

【患者様へのお願い】

(2015年10月から2016年9月の1年間に当院でニボルマブ（オプジーボ[®]）による
薬物治療を受けられた患者様へ)

免疫チェックポイント阻害剤はがんの新規治療方法です。その一つである抗ヒトPD-1モノクローナル抗体のニボルマブ（オプジーボ[®]）は、近年、発展が目覚ましく、がん腫を問わず適応が拡大しています。しかし、免疫関連の副作用について十分な注意が必要であるとともに、治療効果について様々な報告が挙がっています。また、医療費の高騰が社会問題になったなど、課題も出てきています。そのため、①有効性・安全性の予測と、②適切な患者様の選択について、さらなる検討が望まれています。本研究では、ニボルマブの有効性・安全性予測を可能とする因子（要因）を調べます。この予測が可能となれば、患者様の精神的、経済的負担を軽減することができるため、日常的な治療への貢献度が高いと考えています。

患者様の名前など個人情報 は 厳重に、保護、管理されるとともに、研究成果の公表の際は個人が特定されることがないように処理しています。また、この研究による不利益や危険はありません。

本研究にご自身の診療情報を使用して欲しくないとお考えの際はいつでも下記までご連絡下さい。また、そのような場合も一切の不利益は生じません。

研究代表者名

国立病院機構京都医療センター薬剤部 畑 裕基

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1

TEL 075-641-9161 (代表)

FAX 075-643-4325